

先輩からのメッセージ(1,2年生に伝えたいこと)

夢に向かって 3年5組 土井佑真(涌谷中学校出身)

私の夢は競輪選手になることです。なぜそう思ったかというと高校入学後,自転車競技を始め,自転車 が好きになり、「好きなことで仕事ができるならいいな」と思ったからです。

競輪選手になるためには競輪学校の試験を受け、合格し入校しなければなりません。しかし、私は残念 ながら合格することができませんでした。単純に力が足りなかったからです。

私はまだ、競輪選手になる夢をあきらめていません。もう一年勉強し、鍛え直して、夢に向かって頑張 りたいと思います。

皆さんもご存じだとは思いますが、土井君は2年連続インターハイに出場し、今 年度のインターハイでは男子ケイリンで第5位に入賞し、本校生として52年ぶり の入賞を果たしました。また、県大会でも大会記録を塗りかえての優勝の実績もあ ります。これだけの実績がありながらも自分の力不足を認め、夢実現の為に自らを 厳しい環境にさらしていく。このような生徒がいる小牛田農林は素晴らしい学校で す。ぜひ、皆さんも自らの「夢実現」のために妥協することなく頑張りましょう。



正路 和真 (門脇中学校出身 平成 29 年度卒業)

私は一年間浪人をして、宮城教育大学に合格することができました。私の夢は数学科の教員になること です。去年、現役の時に東北学院大学に合格しましたが、肝心の数学が入試レベルに達していないこと、 そして何よりも自分自身が納得できなかったので浪人することを決めました。

予備校に行かなかったので、一年間モチベーションを保つのがとても難しかったです。だからこそ、目 標達成の為に何をすればよいのかを考え、行動しました。それが合格につながったと思います。この経験 を活かして、将来、教員になれるようにこれから大学で努力していきたいと思っています。

最後に、在校生の皆さんは自分の夢に向かって、信念を曲げずに頑張ってください。応援しています。

正路先輩は剣道部に所属し、インターハイ、国体に団体戦メンバーとして出場しまし た。卒業時には渡辺奨学賞も受賞するなど、部活動でも大活躍した先輩です。彼が卒業 する時に「君は進路が決まらず卒業していく。進路決定率は100%にならなかった。そ のことは残念であるし、先生方の力不足だった。しかし、君が妥協をしないで目標に向 かって卒業していくことがとてもうれしいし、誇らしい。」と声をかけ、握手をして送 り出しました。先日、合格の報告に来校した際に、お祝いの握手が出来たことは進路指 導部としてはとてもうれしい出来事でした。



春休み中の過ごし方について

新3年生

○進学希望者・・・オープンキャンパス、学校説明会等へ参加しての情報収集

この休み中を利用して参加をしてみてはいかがですか?進路室前の掲示板(週番連絡ホワイトボードの右隣に新しく設置しました!)にもポスターが貼ってあります。また、各学校のHPなどにも情報が載っています。3年生になってからですと、新学期のドタバタや、総体などで忙しく、参加が難しくなるかもしれません。総体終了後でも十分に間に合いますが、もし暇な時間があるならば参加してみるのもよいかと思います。保護者対象のものもありますので、親子で参加してみてはいかがですか?

その際、部活動のスケジュールを確認し、練習等に支障がない上で参加してください。

○就職希望者・・・希望業種、職種、企業の決定

キャビンアテンダントの業種は「運輸業」,職種は「サービス業従事者」です。パイロットの業種は同じく「運輸業」,ですが,職種は「輸送運転従事者」です。というふうに業種と職種の分類について知っておくことも必要です。 しかし,現実には重要となるのは「職種」になるかと思います。主に「製造」「サービス」「事務」の3つにわけられます。どれを選ぶかは,自分の適性,取得している資格,性格や体力・・・などにより決まります。もちろん,本人の強い希望や小さい頃からの夢やあこがれも重要な要素です。

3 年生は 4 月にはクレペリン検査を行います。これはドイツの精神科医であるエミール・クレペリンが発見した作業曲線を元に、日本の内田勇三郎が 1920 年代から 1930 年代にかけて開発したもので、ひと桁の足し算(3、4、5、6、7、8、9 の組み合わせからなる)を 5 分の休憩をはさんで前半 15 分、後半 15 分の 30 分間行わせた上で、1 分ごとの作業量の継時的な変化のパターンから性格や適性を診断する。診断の基本的な考え方は、健康で性格面・適性面に大きな偏りのない人に典型的に出現する曲線型を「定型曲線」として置いた上で、その定型曲線との類似度やズレ、定型にあてはまらない曲線特徴の現われ方などからその人の性格や適性を評価するものである。(Wikipedia より引用)。自分がむいている職種が何かを知るための参考にしましょう。

この休み中に、自分がやりたいことは何か?自分に向いているものは何か?資格は取れているか?などを確認し、保護者の方々と相談してみましょう。手がかりが何もないのでは困るでしょうから、進路閲覧室に資料(求人票など)を参考にしてください。3年生が卒業し、現在進路室に出入りする生徒はほとんどいません。暇なときにのぞいてみてください。進路指導部の先生方もいますので、気軽に質問してください。

新2年生

基本的には新3年生と同じです。ただし、まだ具体的な進学先や就職先が決まっていないでしょうから、今年一年、小牛田農林で学習したこと、経験したこと(部活動、実習、ボランティア等)を振り返り、そこから学んだことをまとめておきましょう。3年生になった時に、1年生での学習、経験を十分に生かせるように(思い出せるように)しましょう。進路決定は3年生になってから始まるものではなく、すでに始まっています。

